



一の宮っ子

第27号

発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL・FAX 0586-73-0356
ホームページアドレス
<http://home.owari.ne.jp/~jido-ren/>
平成26年7月10日



▲忙しい中でも子どものためにできることとは

本年度も皆さんと一緒に楽しい子ども会活動、安全で活力ある活動を進めて行きますよ。
価値観の相違や生活スタイルの多様化により時間の執り難くなった現代社会です。多くのお母さんは仕事をもち、子ども達も塾や稽古事と忙しく子ども会活動を進めるにも、意識しないとコミュニケーションの時間もとれないこの頃です。
そんな中で「子どもによる子どもの為の 子ども会活動」

を進めることは、地域の中で、異年齢の子ども達が、一緒に考え一緒に遊ぶ大切な経験になります。子ども達が自分達で考え自分達でやってみることが大事です。上手くいけば、笑顔と自信となります。また、失敗することも大事な経験になります。失敗してその経験を糧とし、次のステップに進めることこそ一番大切なことです。
限られた時間を今一度見つめ直し、子ども会活動に投入してみませんか。近所の親御さん、地域の人達がきっと力を貸してくださいませ。
現在、市内の子ども会の参加率は80%強、平成18年には二万人超の会員数が、一万八千人強と少子化もあり、減少傾向にあります。
子ども会活動では、安全で元気で楽しいが大事です。その安全について、けがをしない安全な環境を作ることは大切なことですが、子ども達が自分で安全について考え、危険を回避できる能力を身に着けることが、一番大切なことです。



『指導者の皆さんへ』 子ども会活動の大切さ

一宮市児童育成連絡協議会
会長 土屋 寛



▲子ども達が活動から成長していけるような組織にしていましょ

子ども達は、親を見、家族を見、身近な大人たちを見て覚えて行きます。この一年間、苦勞すること楽しいこと色々

あると思いますが、最後には、よかったと、思えるような子ども会活動にして行きますよ。

平成26年 一宮市子ども会 指導者研修会

浅井町連区 河端子ども会
指導者 世倭智恵子

4月26日子ども会指導者研修会に参加させて頂きました。昨年、指導者として活躍された2名の方の体験談を聴講し、指導者の工夫で子ども会の行事に大きく反映する事、また、子ども会の関わりを通して地域の方との繋がりの大切さについて感銘を受けました。と同時に、その役割を担う指導者としての使命感に駆られました。

今回の研修会での学びを生かし、指導者として力を尽くしたいと思います。

萩原町連区 林野子ども会
指導者 中原 淳子

講師の竹下和男先生の講演は、「自分が今、余命5ヶ月と宣告されたらあなたは子どもに何を残しますか？」の言葉から始まりました。「はなちゃんのみそ汁」という33歳で逝った母千恵さんが5歳の娘はなちゃんに残した物は：実話がスライドで映し出されると会場は涙で包まれました。母が娘に残した財産、それは、「食べる事は生きる事」を教える為のみそ汁の作り方を「一人でも生きる力をつける」為に家事を教えました。また先生は「弁当の日」を作る事で食の大切さから多くの幸せや心が育つと話されました。これらの話より、短い間でも愛情を注ぎ、生きる術を伝えると子どもはそれを受け止め、引き継いでいく事を痛感しました。

今年度初めて指導者となった私は、副指導者さんと共に、研修会に参加させて頂きました。昨年度の体験発表、竹下先生の講演、そして涙のスライドショー。何もかもが、目からうるこの研修会でした。昨年度指導者お二人の体験発表は、活動におけるいろいろな苦労、問題点、解決策等についてお話しされました。中でも「子どもの笑顔を目と、それまでの準備の大変さも吹き飛ばす程嬉しかった」という言葉が印象的でした。指導者を経験した方にしか分からない満足感・充実感だと思いました。

次に「子どもが作る弁当の日」を提唱されている竹下先生の最初の言葉です。「今日の帰りに死ぬかもしれない。自分が子どもに教えてや



▲子どもの成長が喜びになる

れることは全て教えていますか。満足のいく子育てをしていますか。」に心をうたれました。日々の忙しさでなかなか一緒にできていない「食事作り」について、改めて考えさせられた講演でした。副指導者さん宅では、早速子ども達と食事作りを始めたそうです。食事作りとは、体の栄養だけでなく、心にも栄養を与えることが出来るものと思ったそうです。研修会を通して大切なことを学びました。日々の生活も子ども会の活動も、私達大人が良き手本となり、子ども達の自主性・積極性・失敗から学ぶことの大切さを教えて行きたい。そして周りの友達を思いやる心を育てて、親も子と一緒に成長していきたいと思えました。このような素晴らしい研修会で貴重なお話を伺うことが出来、とても有意義な時間を過ごせました。私たちは、子ども会活動を精一杯頑張ろうと確かめました。

体験発表

浅井町連区 尾関子ども会
指導者 小野由佳里

子ども会の指導者を引き受けたものの昼夜の勤務、家事をこなしながら一年乗り切れるかな不安なままスタートした一年前。始まってみれば尾関の方々はとても優しく機転が効く人ばかり

でどれだけ助けられたかわかりません。また同じく指導者になられた方々も私以上に多忙なのにいつも笑顔で活動に積極的に取り組む姿勢に、私は背中を押されました。

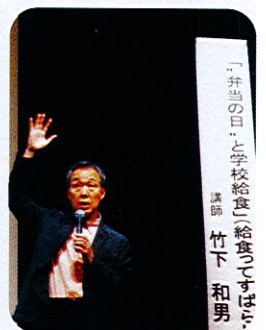
子ども会行事の準備はどれも楽ではありません。でも、子ども達全員が怪我なく「楽しかった」と言ってくれるのを思い描きながら段取りをするうちに「やらされている指導者」から「自ら楽しむ指導者」になれた気がします。行事後、ある親御さんから「子どもが今年のクリスマス会は楽しかった。と言ったよ。」と聞かされた時は大変だった事も忘れてとても嬉しくなりました。

子ども会離れが進んでいると聞かされる今日この頃ですが、子ども達が楽しんで参加する姿を見たり聞いたりする事でそれも阻止できるのではないかなと思います。また子ども達も私がそうだった様に大人になった時に子ども会での思い出が役に立つ日が来るのではないかと感じます。

長い様で短かった一年間、知り合う事のできた素晴らしい人達に本当に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

木曾川町連区 西小路子ども会
指導者 加藤 恒子

私が指導者に決まった時、一番に考えたのが、いかに役員負担を減らしスムーズに子ども会活動を行うかです。



▲今伝えることの大切さを

子ども会福祉週間事業

大和町連区 妙興寺南子ども会
五年 藤田 希望



▲ 気持ちを揃えてイチニ!イチニ!

5月18日に児童福祉大会へ参加しました。玉入れやムカデ競走、ディスク輪投げ、二人三きやくなどがあり、初めて行う競技ばかりだったので、不安と楽しみでいっぱいな気持ちで参加しました。最初はムカデ競走と、しよがい物リレーには出たかないなと思っていました。ムカデ競走は、三人の息が合わなかったのか、ゲタが重くて動かなかったけれど、がんばってゴールすることが出来て、よかったです。しよがい物リレーでは、ダンボールキヤタピラーの中に入った時に、いも虫になった気分が楽しかったです。

大会の競技の中で、一番楽しかったのは、二人三きやくです。とても仲のいい友達と組んだので、スムーズに、リズムよく走って一着でゴールすることが出来ました。同じ子ども会の1年生から6年生の人達と協力し合って、一つ一つの競技を自分なりに一生けん命がんばりました。10位までには入れなくて残念だったけど、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

これからも、色々な子ども会の行事に参加し、たくさん人の経験をして、楽しい思い出を作っていきたいと思います。

今伊勢町連区 出町子ども会 三年 はせ川のの

わたしの子ども会は、子どもの数が少ないです。きょう年は、人ずうぎりざりで大なわとびにさんかできたのに、途中で中止になってしまいました。たくさんさんれん習したので、今年ねんな思いをしたので、今年は、いい天気になってよかったです。

わたしは、一人なわとびにさんかしました。「よいスタート。」

一人なわとびがはじまりました。出町では、さいごまでとべた子は一人だったけど、わたしは、うれしかったです。どうしてかという、51回とべたからです。

ながなわとびにでれなくてひまだったから、みんなでなわとびで魚つりごっこをしてあそんでいました。帰りにジューズをもらって、車でコンビニに行って、アイスを買いました。らい年は、一人なわとびができないから、子ども数がふえて、大なわとびにちようせんできたから、うれしいです。

妹が一年生になるから、一人なわとびのおうえんをがんばります。なわとびたい会に、出られようれしかったです。

奥町連区 前二南子ども会 六年 山田 幸奈

私は、今年六年生なので、福祉大会に参加できるのは、最後の年となりました。六年生で出た競技は障害物競走と棒取りでした。

障害物競走は、むずかしかったです。特にむずかしいと思ったのは、グラウンドゴルフです。クラブで打った玉が外れてしまうと、やり直しになるため何回も失敗してしま

いました。次の競技、棒取りは赤と白に分かれて、棒を引っ張り合う競技です。私は、赤組でしたが白組の方が人数が多かったのですぐに負けてしまいました。周りの子と作戦会議をしたので、もう少しスタートを分かりやすくしてほしいです。

起連区 ふたば子ども会 六年 瀬林 佳乃



▲ 慎重にしっかり狙えるかな?

5月18日、木曾川ウォーキング大会に参加しました。始まる前は、「えー、また歩くの、つかれるよー。」とのり気ではありませんでした。集合場所にいくと友達がいだったので、一緒に歩くことにしました。

折り返し地点でチェックしてもらおうカードをもらい友達とスタートしました。歩き始めると、友達が「ゴールした順に、好きなパンを選べる。」と言ったので走っていくことになりました。折り返して、つかれながら、ゴールすると、もらえたパンは、メロンパンでした。メロンパンは大好きだったのであげました。歩いている時は非常に天気がよく、水筒に入ってるお茶をよく飲みました。それほど、天気がよかったです。ゴール後のくじ引きで、大きい方のおかしがもらえてうれしかったです。小学校最後のウォーキング大会だったので天気もよく、大きいおかしも、もらえたのが最高でした。

私は、今年から始まった赤組、白組に分かれて戦うやり方はいいと思います。勝ち負けがあるとがんばろうと思うからです。一年生のころから赤組、白組があればよかったのになと思います。最後は班別対抗リレーで、すぐくもり上がりました。私たちの子ども会代表の子たちも一生けん命走っている姿に感動しました。赤組は負けてしまいましたがとても楽しい福祉大会でした。

私は、今年から始まった赤組、白組に分かれて戦うやり方はいいと思います。勝ち負けがあるとがんばろうと思うからです。一年生のころから赤組、白組があればよかったのになと思います。最後は班別対抗リレーで、すぐくもり上がりました。私たちの子ども会代表の子たちも一生けん命走っている姿に感動しました。赤組は負けてしまいましたがとても楽しい福祉大会でした。

私は、今年から始まった赤組、白組に分かれて戦うやり方はいいと思います。勝ち負けがあるとがんばろうと思うからです。一年生のころから赤組、白組があればよかったのになと思います。最後は班別対抗リレーで、すぐくもり上がりました。私たちの子ども会代表の子たちも一生けん命走っている姿に感動しました。赤組は負けてしまいましたがとても楽しい福祉大会でした。

私は、今年から始まった赤組、白組に分かれて戦うやり方はいいと思います。勝ち負けがあるとがんばろうと思うからです。一年生のころから赤組、白組があればよかったのになと思います。最後は班別対抗リレーで、すぐくもり上がりました。私たちの子ども会代表の子たちも一生けん命走っている姿に感動しました。赤組は負けてしまいましたがとても楽しい福祉大会でした。

平成26年度
新指導者ゲーム研修会

葉栗連区 西山子ども会
指導者 岩山 美緒

新指導者ゲーム研修会という事で、今回娘と2人で参加させて頂きました。
初めてこれだけ大きな規模の研修に参加させて頂いたので緊張していました。

実際にゲームが始まり、講師の方が説明されるのを聞きながら、注目のさせ方やゲームの進め方などとても参考になる事ばかりで、気づいたら夢中になって娘共々楽しんでいました。

全く知らない他の連区の方と一緒にするのは緊張するし上手く話せないのでは？といった心配もすぐになくなりました。

ゲームもいろんな物がありこれから一年間で、子ども会のイベントなどある時に子ども達に教えてどんどんやってみたいと思います。

子どもの数も少なく、出来るゲームがないかと悩んでいたのですが、新しい物を教えてもらってとても助かりました。

娘はレクダンスで教えていたけどダンスがとても気に入ったようで、家に帰ってから一人で思い出し練習して友達に教えたいと言っていました。

このような貴重な体験をさせて頂いたことに感謝すると共に、今後の子ども会活動に生かせるように頑張りたいと思います。

小信中島連区二ツ屋北子ども会
指導者 鈴木 由乃

私は、昨年歓送迎会の担当となり、ゲームを考えるのにととても苦労したので、今回この新指導者ゲーム研修会に参加している参考になりました。この研修会で、約20種類のゲームを楽しみました。今年から子どもも参加し楽しみながらゲームをしました。

ゲームには、いろいろな要素があり、子どもたちを静かにさせる拍手ゲームや人数の把握に使える数集めのゲームなどがありました。研修会の最後に、ジュニアリーダーが代表でチラシパズルゲームをやってくれました。このゲームは、チラシをすきなように32枚に破り、そのピースを元のチラシのように戻すゲームで、みんな協力し合いながら、楽しめると思いました。

ゲームは、お金をかけなくても楽しめるゲームがたくさんあることを知りました。レクリエーション指導者のみなさん、たくさんゲームを紹介して頂きありがとうございます。今度の歓送迎会で参考にしていききたいと思っています。



▲ゲームを通して仲良くなれるといいね

救急法
KYT研修会

葉栗連区
安全部長 青井 泰子

救急法・KYT研修会に、参加させて頂きました。最初に、4グループに分かれて一宮消防本部職員の方に、心肺蘇生法を指導していただきました。傷病者を発見した時は、意識がなく、呼吸をしていないことを確認したら、ただちに胸骨圧迫をすること、10分以内には、救急隊が到着するので、引き続きまでは、胸骨圧迫を続けることで生存率が上がることを教えていただきました。また、現在は、ほとんどの施設には、AEDが設置されていることもわかりました。その後は、愛知県子連 安全教育指導者の小島典子さんから、KYT研修を受けました。小島さんは子ども会の指導者から様々な経験をされ、現在の立場になられたかたです。楽しく子ども会活動をすすめていく為に『危険』を知り、『潜在的な危険』を発見し、安全に対する心構えをもっておくことが重要になります。KYTは、危険について考え、危険回避能力を高めることができます。またKYTを行う時は、全員が気がついたことを遠慮なく発言できるようにすることや、他人の意見を批判しないことを説明



▲いざという時のために

しながら、進めていくことがよく理解できました。

表彰

去る4月26日、子ども会指導者研修会の席上で、多年にわたり、子ども会活動の推進にご尽力された左記のみなさんが、一宮市長より感謝状を贈呈されました。

- 永年在職者（10年以上）
葉栗連区児童育成協議会 松原 進様
- 西成連区児童育成協議会 西山 和代様
- 北方町連区児童育成協議会 左合 亮子様
- 奥町連区児童育成協議会 森 千恵子様
- 萩原町連区児童育成協議会 岩脇 克利様

行事予定

- 各連区 球技大会
- 各連区で決まった日時
- 福祉とボランティア活動展 10月18日（土）・19日（日）
- 新年子ども会大会 1月10日（土）
- 指導者代表研修会 2月7日（土）
- 新指導者ゲーム研修会 3月14日（土）

編集後記

新年度を迎え、広報部員5名すべて新メンバーに替わり心機一転頑張りたいと思います。
初めてなことがばかりで分からない所がありますが、頑張って作成致します。
（長谷川 光）

一の宮っ子を楽しんで読んでいただけるように一年間がんばります。よろしくお願ひします。
（島田 浩美）

慣れない事ばかりで不安ですが、メンバーの方々と一緒に楽しく頑張りたいと思います。
（松本美佐子）

文才がない上に、初めての広報活動に不安は尽きないですが、頑張っていきたいと思っています。
（小島亜由子）